

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 弓削哲史 副委員長 安里 彰

幹事 田村信幸・平栗滋人 幹事補佐 井上真二・岡村寛之

日時 12月15日(土) 13:00~17:15

会場 沖縄県立宮古青少年の家(宮古島市平良字東仲宗根添 1164. 車:宮古空港から約15分. <http://www.miyako-banzu.com/access.html> TEL [0980] 72-8883 (会場) 田村信幸 (法政大))

議題 信頼性国際規格, 保全性, 信頼性一般

1. 踏切交通量に基づく踏切・列車群制御手法の適用効果に関する一考察
○厚田和也・熊澤一将・北野隆康・岩田浩司(鉄道総研)
2. 慣性センサと速度発電機を併用した列車完全性管理システムにおける車両間の伝送断への対策
○北野隆康・谷口 茂・岩田浩司(鉄道総研)
3. 社会インフラストラクチャの最適保全方策 ○伊藤弘道(鳥取大)・中川覃夫(愛知工大)
4. ECNビット誤りを考慮した高信頼性の通信プロトコル(HpFP)のモデル化
○木村充位(岐阜市女子短大)・今泉充啓(愛知学泉大)・中川覃夫(愛知工大)
5. CANプロトコルにおけるイベントトリガ型メッセージの応答時間解析
○佐藤諒平・福本 聡・大原 衛(首都大東京)
6. 不正アクセスの検出誤りを考慮した多段階チェック方策をもつシステムの信頼性解析
○今泉充啓(愛知学泉大)・木村充位(岐阜市女子短大)
7. トレンド再生故障過程に対する最適周期的取替え方策 ○齋藤靖洋(海上保安大)・土肥 正(広島大)
8. 仕事の完了回数と故障回数で取替を実施する取替方策の比較 ○水谷聡志・中川覃夫(愛知工大)
9. Burr Distributions and Software Reliability Modeling
Luangyi Quan・○Tadashi Dohi・Hiroyuki Okamura(Hiroshima Univ.)

◆日本信頼性学会, IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催

☆R研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2019年2月15日(金) パナソニック企業年金基金松心会館[12月10日(月)] テーマ:機構デバイスの信頼性, 信頼性一般(共催:EMD研究会, 継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE EPS JAPAN)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<https://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

岡村寛之(広島大)

E-mail: okamu@hiroshima-u.ac.jp